

資料1-1

平成28年度

事業報告書

社会福祉法人 登別千寿会

特別養護老人ホーム緑風園

目 次

平成27年度 社会福祉法人登別千寿会 事業報告	1
1. 理事会開催状況	1～2
入所者の処遇	3～5
(1) 生活援助・相談	3
(2) 個別処遇	3
(3) 給食サービス	3
(4) 医療サービス	3
(5) 入浴サービス	3～4
(6) リハビリテーションの実施	4
(7) レクリエーションの実施	4
(8) クラブ活動の実施	4
(9) 災害・事故防止	4
(10) 短期入所生活介護（ショートステイ）の実施	4
(11) 「家族通信」の発刊（毎月）	5
(12) ホームページでの情報提供	5
<資料 1> 1. 在所者の人数	6
<資料 2> 2. 在所者の年齢階層	6
<資料 3> 3. 在所者の在所期間	6
<資料 4> 4. 在所者の心身状況（要介護度別・認知症高齢者自立度判定基準別入所者）	6
<資料 5> 5. 在所者の要介護度	7
<資料 6> 6. 新規入所者の入所前居所	7
<資料 7> 7. 各月初日現在入所者数	7
<資料 8> 8. 施設監査等の状況	8
<資料 9> 9. 職員研修・各種講習会・諸会議への参加状況	8

平成28年度 社会福祉法人登別千寿会 事業報告

本会の会務運営並びに本会設置運営に係る特別養護老人ホーム（指定介護老人福祉施設）並びに短期入所生活介護（予防含む）（ショートステイ）緑風園の事業実施状況につき、次のとおり報告致します。

1. 理事会開催状況

◇H28. 5. 2 (月) 午後2時00分

(場所：緑風園ダイルーム)

- ・議案第 1号 施設長（理事）の任命について

◇H28. 5. 27 (金) 午後2時00分

(場所：緑風園ダイルーム)

- ・報告第 1号 緑風園運営状況について
- ・報告第 2号 定期監査の報告について
- ・報告第 3号 平成27年度事業報告について（特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、居宅介護支援事業所）
- ・報告第 4号 平成27年度決算内容の説明並びに決算審査報告について
- ・議案第 2号 平成27年度社会福祉法人登別千寿会緑風園拠点区分（法人本部会計区分、介護老人福祉施設会計区分、短期入所生活介護会計区分、通所介護会計区分、居宅介護支援会計区分）決算認定の審査について
- ・議案第 3号 ユニット型指定地域密着型介護老人福祉施設創設工事に係わる入札について

◇H28. 7. 21 (木) 午後2時00分

(場所：緑風園ダイルーム)

- ・報告第 5号 緑風園運営状況について
- ・報告第 6号 ユニット型指定地域密着型介護老人福祉施設創設工事に係わる現況について
- ・議案第 4号 次期役員の選任について
- ・議案第 5号 理事長の互選について
- ・議案第 6号 副理事長並びに理事長職務代理者の指名について

◇H29. 1. 27 (金) 午後2時00分

(場所：緑風園ダイルーム)

- ・報告第 7号 緑風園運営状況について
- ・報告第 8号 定期監査の報告について
- ・報告第 9号 道、市運営指導等に係る「文書指導事項」の改善措置について
- ・議案第 7号 定款の改正について
- ・議案第 8号 定款改正に伴う「評議員選任・解任委員会運営規程」の制定について

◇H29. 3. 24 (金) 午後2時00分

(場所：緑風園ダイルーム)

- ・報告第10号 緑風園運営状況について
- ・報告第11号 定期監査の報告について
- ・議案第9号 定款の一部改正について
- ・議案第10号 旅費規程の一部改正について
- ・議案第11号 評議員選任・解任委員の選任について
- ・議案第12号 評議員選任候補者の推薦について
- ・議案第13号 平成29年度事業計画(案)について(特養・デイ・居宅)
- ・議案第14号 平成29年度社会福祉法人登別千寿会緑風園拠点区分(法人本部・特養・デイ・居宅)当初予算(案)について

利用者の処遇

(1) 生活援助・相談

介護保険の理念である自立の促進に努めると共に利用者の自由と自主性を尊重し、個人的問題、相互関係、共同生活上の諸問題について、相談・助言を行うと共に、利用者と職員の懇談会を行う等、利用者の全体的問題、ニーズを把握し、意見・要望を日常生活に反映するように努め、ホームの生活に新たな生きがい・希望・喜びを見いだせるよう職員一同、万全の対策を施すことに努力してきた。

同時に「脱集団処遇」をスローガンに、それぞれの利用者の個別ニーズに対応する為、施設のケア体制を「グループケア方式」に変更し、個人の生活スタイルに合わせた生活の構築ができ得るスーパービジョンを実施している。

(2) 個別処遇

個別のケアプランについては、MDS-LAPS 2.1を用いて作成し、その実施にあたった。そして定期的にモニタリングを行いながら、ケアカンファレンスを開催し、利用者の意見も採り入れ、より質の高いサービスの実施に努めると共に、本人又は、家族にもプランを公表し、広く実施の同意を得てきた。尚、状況変化以外の定期的なプランの見直しは半年毎に行っている。

(3) 給食サービス

平成27年8月より日清医療食品(株)との給食業務委託契約を結び、給食サービスを外部委託したことにより、嚥下状態が悪い利用者に対して、食材をペースト状にし、形成したソフト食を提供できるようになり、出来る限り経口摂取で食事を楽しんでもらえるようになった。

更に、「あたたかいものは、あたたかいうちに」「冷たいものは、冷たいままに」という配慮から、様々な工夫を凝らすと共に、野外食(夏期)、鍋の日(冬期)等で出来立てのものを食べられる機会を多く設ける等、個々のニーズに対応できるように多くの機会に二重献立を実施している。又、日本各地のご当地メニューやお楽しみ昼食会を月1回実施し、利用者の希望する献立や他職員が提案した献立により、楽しんで食事をとって頂ける機会を作っている。又、毎月1回の給食会議を行い、利用者の嗜好・意見等に沿った献立に反映させるように努めている。

以上は、管理栄養士及び委託先の栄養士共同による月間予定献立により、カロリー・栄養価を十分に配慮して行われているが、時には身体の状況、疾病等により医師の指示に基づく特別食も実施している。

(4) 医療サービス

利用者の健康を保障する医療サービスについては、協力病院である三愛病院との医療業務委託契約により定期的な回診(精神科医師、内科医師)、必要に応じ随時、歯科医師の往診等の連携のもと、入園時健診や事業計画に基づく、心電図、採血、尿検査等を行うと共にそれ以外にも緊急時等、医師の指示により適切かつ必要な処置を行い、利用者個々の状況把握と適切な処置に、尚一層努めている。又、看取り介護となった場合は、利用者の身体的・精神的苦痛を少しでも和らげられるように対応することに努めている。

(5) 入浴サービス

現在、当園では、毎日を入浴日とし、特浴、中間浴、一般浴等の方法で一人最低週2回の入浴を実施する他、随時清拭により、利用者の清潔保持に努め、褥瘡防止と快適な生活を送られるよう配慮している。

平成15年度に整備しました温泉浴室「千寿の湯」を有効利用し、温泉入浴という一層充実した入浴サービスを行い、又、平成15年度の手椅子浴室の増設、平成18年度と平成24年度の特設浴槽装置とADL入浴装置の更新により、更なる入浴サービスの向上に努めた。

(6) リハビリテーションの実施

当園でのリハビリは、『不自由な手や足』へ対するものではなく、『不自由な手や足を持つ人間そのもの』へ対するものだとの考えから、理学療法、作業療法のみならず日常生活全般にわたる働きかけの中で、臥床状態からの脱皮、身体機能減退のスローダウン、精神的な自主性回復に取り組んでいる。

又、回想法による認知症予防、療育音楽の導入、遊びりテーションの実施等で楽しみながら健康づくりを行ってきた。

(7) レクリエーションの実施

毎月個人の誕生日に一人一人の誕生日を祝っている。又、その際に葉書等で家族へも参加を促している。又、季節感を十分取り入れた行事を実施し、生活の単調化に変化を持たせると共に、利用者の参加の意欲を啓発し、日々の生活が張りのあるものになることに努めてきた。又、ボランティアとの交流や近隣名所見学等による地域社会との交流を深め、利用者が社会的存在としての立場を感じ得るように努めている。又、これらの行事も全体で集団的に行う行事から、個人の希望に沿った小単位のレクリエーションや行事の実施へと変換させている。

又、屋外ログハウス風大ステージを利用し、夏期の行事は北海道の短い夏を有効に過ごすべく、屋外行事を多く取り入れて行った。

さらに、外出行事を多く組み入れ、利用者の外出機会の確保に努めてきた。

(8) クラブ活動の実施

日常生活の中の趣味の活動を推奨すると共に、作業療法の側面も含め、書道（坂本義昭先生）、華道（長尾千代先生）並びにカラオケのクラブ活動を推進してきた。

(9) 災害・事故防止

当園は、全館のドアを全て非常警報と連動した電気錠とすると共に、ナースコールの受信をPHSで行える設備、テンキーによる防火ドアの開閉装置等、防災と防犯、利用者の安全確保の為に最新技術を導入する等と併せて、防災訓練を定期的に行い、利用者のより快適で安全な暮らしを保証するよう努めた。

(10) 短期入所生活介護（ショートステイ）の実施

平成12年4月1日よりスタートした介護保険の短期入所生活介護（ショートステイ）の専用ベットを12床設けている。

平成28年度中の延べ利用人数は、234人。延べ利用日数は、1,628日で、平成27年度より29人、203日の利用増となっている。平成28年度の1日平均の利用者は4.47人であった。

月別の利用状況は、次ページの表のとおりである

要介護度別利用者状況

平成28年4月1日～平成29年3月31日

		要支援		要 介 護 度					計
		1	2	1	2	3	4	5	
4月	実 人 員	0	1	4	7	6	2	0	20
	延利用日数	0	8	26	27	45	4	0	110
5月	実 人 員	0	0	6	7	4	3	0	20
	延利用日数	0	0	39	31	55	16	0	141
6月	実 人 員	1	0	6	8	1	3	0	19
	延利用日数	4	0	46	31	7	10	0	98
7月	実 人 員	1	0	6	8	1	3	0	19
	延利用日数	5	0	59	35	8	11	0	118
8月	実 人 員	0	1	7	8	2	2	0	20
	延利用日数	0	2	80	52	37	26	0	197
9月	実 人 員	0	0	9	7	2	1	0	19
	延利用日数	0	0	61	37	14	18	0	130
10月	実 人 員	0	0	8	7	2	3	0	20
	延利用日数	0	0	45	40	11	17	0	113
11月	実 人 員	0	1	6	10	2	0	0	19
	延利用日数	0	3	29	115	12	0	0	159
12月	実 人 員	0	0	7	6	2	2	0	17
	延利用日数	0	0	33	38	38	10	0	119
1月	実 人 員	1	0	6	7	3	2	0	19
	延利用日数	6	0	41	54	27	40	0	168
2月	実 人 員	0	0	6	4	3	6	1	20
	延利用日数	0	0	34	19	21	43	9	126
3月	実 人 員	0	1	3	10	3	4	1	22
	延利用日数	0	8	8	67	23	20	25	151
計	実 人 員	3	4	74	90	30	31	2	234
	延利用日数	15	21	501	556	288	215	34	1,630

(11) 「家族通信」の発刊(毎月)

昭和62年8月より、毎月、緑風園「家族通信」を発刊し、家族等に配布し、家族等に対して園の行事等の情報を数多く提供するよう努めている。

(12) ホームページでの情報提供

平成13年6月21日よりWEBサイトに緑風園のホームページを作製しインターネットを通じ全国の方々に園の情報を発信している。ホームページ上から入所申し込みができるオンライン入所申し込みを増設したりし、使いやすく見やすいサイトとして情報発信をおこなっている。

在 所 者 集 計 表

平成29年3月31日 現在

<資料 1>

1. 在所者の人数

(人)

在所者	100	男性	18
		女性	82

<資料 2>

2. 在所者の年齢階層

(人)

	65歳未満	65~70歳未満	70~80歳未満	80~90歳未満	90歳以上	合計	平均年齢(歳)
男性	0	3	7	7	1	18	78.61
女性	1	3	6	27	45	82	88.82
計	1	6	13	34	46	100	86.98

<資料 3>

3. 在所者の在所期間

	6か月未満	6か月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	合計	平均在所日数(日)	
								男	女
(人)	18	10	28	11	19	14	100	869.72	1,797.31
								1,630.34	

<資料 4>

4. 在所者の心身の状況(要介護度別・認知症高齢者自立度判定基準別入所者数)

(人)

認知症自立度		寝たきり度	寝たきり度判定基準				計
			ランクJ	ランクA	ランクB	ランクC	
認知症は認められない			0	0	3	0	3
認知症 高齢者 自立度 判断基準	ランク I		0	0	5	1	6
	ランク II		1	6	18	2	27
	ランク III		1	17	31	3	52
	ランク IV		0	3	5	4	12
	ランク M		0	0	0	0	0
計			2	26	62	10	100

<資料 5>

5. 在所者の要介護度

性別\要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	2	0	4	7	5	18
女性	1	4	21	22	34	82
計	3	4	25	29	39	100

<資料 6>

6. 在所者の入所前居所

	居宅	医療機関	介護福祉施設	介護保健施設	介護療養施設	認知症対応型	特定施設	他社介護施設	その他	合計
男性	5	10	1	2	0	0	0	0	0	18
女性	22	37	3	16	2	1	0	1	0	82
計	29	47	4	18	2	1	0	1	0	100

<資料 7>

7. 各月初日現在入所者数

月	要 介 護 度					計
	1	2	3	4	5	
4月	0	2	21	30	47	100
5月	0	2	22	28	46	98
6月	0	2	24	27	47	100
7月	0	2	24	27	47	100
8月	0	1	26	26	47	100
9月	0	1	28	25	45	99
10月	0	1	28	24	46	99
11月	0	2	26	23	44	95
12月	0	2	24	24	43	93
1月	0	3	24	26	43	96
2月	0	3	24	25	41	93
3月	3	3	24	29	40	99
計	3	24	295	314	536	1,172

<資料 8>

8. 施設監査等の状況

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

年 月 日	内 容	実施者 (出席者)
定期監査等		
H 2 8 . 4 . 2 7	内部監査～法人及び施設運営全般	当法人～佐々木、片山両監事
H 2 8 . 5 . 2 6	決算審査～一般会計及び特別会計	同上 ～同上
H 2 8 . 7 . 2 7	内部監査～法人及び施設運営全般	同上 ～片山、猪股両監事
H 2 8 . 1 0 . 2 6	内部監査～法人及び施設運営全般	同上 ～同上
H 2 9 . 2 . 1	内部監査～法人及び施設運営全般	同上 ～同上
入所判定委員会		
H 2 8 . 4 . 2 6	H 2 8 年度第 1 回入所判定委員会	当園～小田総合施設長、白井相談室室長、 奥山業務係主任、菊地(悦)看護係長、 中村施設ケア係長 当法人～千葉理事長、片山監事 第三者委員～渡部委員、高嶋委員、鎌田委員、 太田委員
H 2 8 . 7 . 2 9	同上 第 2 回 //	
H 2 8 . 1 0 . 2 5	同上 第 3 回 //	
H 2 9 . 1 . 2 7	同上 第 4 回 //	

<資料 9>

9. 職員研修・各種講習会・諸会議等への参加状況

(年月日)	(研修等)	(参加・出席者)
平成28年		
4月18日	平成28年度認定調査員 新規研修(室蘭市)	SW
5月16日	第45回 西いぶり在宅ケア連絡会 公開講座(室蘭市)	SW
5月20日	のぼりべつケアマネ連絡会 5月定例会(登別市)	CM、SW
6月1日	平成28年度施設職員スキルアップ講座(札幌市)	CW
6月28日～29日	平成28年度日胆地区老人福祉施設職員研究大会(登別市)	CW
7月5日	安全運転管理者講習(室蘭市)	管理係長
7月13日	平成28年度特定給食施設等栄養業務担当者研修会(室蘭市)	管理栄養士
8月29日	平成28年度北海道高齢者虐待防止推進研修会(基礎編)(札幌市)	CW
10月18日	認定調査員(新規)研修会(札幌市)	CM
11月4日	平成28年度施設職員スキルアップ講座(札幌市)	CW
11月28日	平成28年度北海道高齢者虐待防止推進研修会(施設編)(札幌市)	CW
12月26日	社会福祉法人制度改革に伴う事務説明会(札幌市)	総合施設長
平成29年		
1月17日	登別市介護予防・日常生活支援総合事業に係る説明会(登別市)	総合施設長
1月24日	三愛病院院内研修『接遇研修会』	CM、CW
2月7日	三愛病院院内研修『行動制限研修会』	CM、CW
2月10日	北海道福祉教育専門学校介護職員実務者研修職業講和 講師(室蘭市)	施設長代理
2月14日	平成28年度登別市消費者被害防止ネットワーク定例会議(登別市)	施設長代理
2月20日	三愛病院院内研修『個人情報保護法研修会』	SW、CM、CW

資料1-2

平成28年度

事業報告書

社会福祉法人 登別千寿会
デイサービスセンター 緑風園

目 次

目次	1
1. 基本的なサービス実施状況	
① 生活相談	2
② 機能訓練	2
③ 送迎	3
④ 健康チェック	3
⑤ 入浴	3
⑥ 食事	3
2. その他のサービス実施状況	
① レクリエーション（行事）	3
② ボランティアの積極的な受け入れ	4
③ 「健康だより」	4
④ サービス自己評価の実施	4
⑤ 職員研修等の実施状況	4
⑥ 運営推進会議について	4
3. 環境整備	
① 各トイレにウォシュレットの装備	4
② 認知症加算取得の為 認知症介護者実践者研修の参加	4
③ トイレカーテンの開閉から引き戸の設置について	4
資料1 デイサービス事業実績報告書	別紙

1. 基本的なサービス実施状況

① 生活相談

通所開始時には利用者宅へ訪問し、身体や精神面・家族との関係など、本人や家族のニーズキャッチに努めました。その上で『通所介護計画書』を作成し、これまで同様にサービスの個別対応を行いました。

また、送迎時や来園時、電話連絡の際や必要に応じ訪問し、利用者や家族の声を傾聴し、近年多様に変化する利用者のニーズにも柔軟かつ迅速に対応することを実践し、生きる意欲の向上に努めました。その結果、これまで以上に担当ケアマネージャー、他サービス担当者への連絡・報告・相談を密にし、現在の状態や近況報告を伝え、サービス関係者との連携強化を図り、利用者の生活の質の向上に繋がっています。

② 機能訓練

確かなニーズに寄り添う機能訓練の実施として、杖や歩行器を使用された実際の歩行訓練を重視しました。

そのうえで、訪問活動によるニーズキャッチ、利用者との相談による計画の立案、センターにてスタッフと本人との体調を考慮しながらの計画実施、デジタル入力、管理による記録、評価、連絡事項による家族様や関係機関との連携強化を行い身体機能の維持に努めました。

- a) 「歩行動作訓練」…杖や歩行器を使用された実践歩行訓練を行い、下肢筋力維持、バランス感覚の維持、杖の使用や歩行器の安全な使用方法を楽しみながら取り組まれるように配慮しました。歩行訓練は意欲の向上が図れるように会話や声を掛け合い楽しめる様に実践しました。また希望者や必要時には個別に疾患などに合わせた立ち上がり動作訓練を行い、下肢機能の維持に努めました。
- b) 「制作レクリエーション」…壁絵作りとして水族館や季節のちぎり絵、コースター作りなど手芸活動を行い、手先の機能維持に努めました。作品は室内に展示し、自宅でも使用できる物を作ることで、活動への意欲向上を図りました。
どなたでも参加されるように、入浴前後または昼食後の時間を利用し行われました。
- e) その他、移動・食事・排泄・入浴・更衣、介護記録、看護記録、連絡帳記載、個別機能訓練記録の各局面において、利用者に必要な支援を自尊心が保たれるように実践しました。

③ 送迎

送迎は、マイクロバス一台、ワゴン車1台、乗用車1台で行い、事故・けがなく安全にお客様を送迎しました。

送迎における利用者の負担を避けるため、乗車時間が1時間を越えないよう送迎計画を立て、コンパクトな送迎を行いました。

④ 健康チェック

継続的な測定から得られた個々のバイタル傾向と、その日の様子・状態から適切な健康指導を看護師を中心に行いました。

⑤ 入浴

平成15年12月より、温泉「千寿の湯」の入浴を開始、きめ細かい湯温調整などを行いながら、快適な入浴を楽しまれるように支援しました。

センターにおける入浴は清潔保持・心身のリフレッシュの効果だけでなく、利用者同士の交流の場として、また、スタッフによる全身状態の観察の機会として千寿の湯の効能を十分に活用しました。

また、安全を確保しながら、歩行機能が低下した利用者でも可能な限り一般浴での入浴が行えるよう努めました。その上で、皮膚のただれ、変色等を発見の際には、電話や連絡帳で家族やケアマネージャーに報告し、疾患や褥瘡の早期発見・対応に努めました。

⑥ 食事

利用者の意見が給食サービスに反映されるように契約時や来所時に意向を伺い、その都度本人の希望に添える食事サービスを提供しました。

a) 行事食…花見・敬老会・紅葉狩り・クリスマス会・新年(鍋の日)の行事の時は、季節感のある特別メニューの用意を致しております。

b) デイサービス給食会議の開催(必要時)

2. その他のサービス実施状況

① レクリエーション(行事)

誕生会・敬老会・クリスマス会・新年会等を行い、精神的な活性化を図り、デイサービスが楽しみの場とされるように企画しました。

花見では観光地としての名所見物に加えて、季節感を十分に感じてもらえるような外出行事を行いました。

敬老会では、地元のボランティア団体に協力により、フラダンスやオカリナなどの演芸を披露されました。

② ボランティアの積極的な受け入れ

地域と施設をつなぐボランティアを積極的に受け入れ、利用者との交流を推進し、サービスの充実・向上に努めました。

- a) 夏休み「ボランティア月間」への協力（社会福祉協議会主催）
- b) その他、学生・地域の有志ボランティアの受け入れ

③ 「健康だより」の発刊（季節の変わり目など）

デイサービスの様子や一ヶ月の予定を中心とした内容のものを、毎月利用者全員に配布しました。また、家族にも読まれるように工夫し、行事・リハビリの様子を積極的に紙面へ取り入れました。

④ サービス自己評価の実施

年1回（4月）にサービス自己評価を実施し、現在のサービスの改善点を明らかにし、改善に取り組みました。自己評価は北海道デイサービス協議会様式を使用し、結果はホームページにて公表しています。

⑤ 平成28年度 職員研修等の実施状況

- ・該当なし

⑥ 運営推進会議について

- ・平成28年10月18日に開催しました。（第1回）

※（平成29年4月20日に開催しました。第2回、平成29年度会議）

3 環境整備

① 各トイレにウォシュレットの装備について

- ・今年度装備されず。

② 認知症加算取得の為 認知症介護者実践者研修の参加

- ・認知症介護実践者研修に参加できず。

③ トイレカーテンの開閉から引き戸の設置について

- ・今年度装備されず。

資料1

平成28年度 デイサービス事業実績報告書

デイサービスセンター緑風園

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計				
	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	
要支援1	7	25	7	22	6	25	6	23	6	22	5	18	4	17	4	12	4	13	4	12	4	12	3	11			60	212	
要支援2	11	66	12	54	12	74	11	66	10	68	11	63	8	41	7	31	6	36	6	32	7	39	8	55			109	625	
要介護1	22	153	21	151	21	158	21	133	20	150	17	138	19	126	18	117	17	121	17	89	15	83	12	96			220	1,515	
要介護2	11	85	12	71	11	75	8	70	11	89	9	66	11	76	12	82	12	99	12	80	14	88	14	100			137	981	
要介護3	1	8	2	11	2	12	1	7	0	0	2	18	2	24	2	21	2	19	2	14	1	16	1	15			18	165	
要介護4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	7	3	17			6	24
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
合計	54	337	54	309	52	344	47	299	47	329	44	303	44	284	43	263	41	288	41	227	42	245	41	294			550	3,522	
延べ入浴数(一般)	314		294		334		274		305		284		266		239		258		207		225		266					3,266	
延べ入浴数(特浴)	16		14		7		21		21		17		16		21		28		16		17		23					217	
延べ食事数	337		309		344		299		329		303		284		263		288		227		245		294					3,522	
延べ機能訓練数	337		309		344		299		329		303		284		263		288		227		245		294					3,522	
開所日数	20		19		22		20		22		20		20		20		21		19		20		22					245	
1日平均利用数	16.8		16.2		15.6		14.9		14.9		15.1		14.2		13.1		13.7		11.9		12.2		13.3					14.3	
新規利用者数	0		2		0		0		0		0		0		1		0		0		3		3					9	
利用中止者数	1		2		2		3		2		3		1		2		1		0		2		4					23	
登録者数(男性)	12		12		10		9		9		9		9		10		9		9		8		6						
登録者数(女性)	42		42		42		40		38		35		34		32		32		32		34		35						
登録者数(合計)	54		54		52		49		47		44		43		42		41		41		42		41						

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100

資料1-3

平成 28 年度

事業報告書

社会福祉法人 登別千寿会
緑風園居宅介護支援事業所

目次

要介護度別利用者の状況・・・・・・・・・・	< 1 >
月別施設入所等移動数・・・・・・・・・・	< 1 >
月別介護サービス利用状況・・・・・・・・・・	< 2 >
月別予防サービス利用状況・・・・・・・・・・	< 2 >
平成28年度事業報告・・・・・・・・・・	< 3 >

* 要介護度別利用者の状況 (平成28年度 実績数)

	要支援			要介護					計
	1	2	計	1	2	3	4	5	
4月	2	4	6	15	8	5	3	1	32
5月	2	4	6	14	9	2	4	1	30
6月	2	4	6	13	11	0	2	1	27
7月	1	3	4	15	9	0	3	1	28
8月	1	3	4	17	9	0	3	0	29
9月	1	3	4	17	9	1	2	0	29
10月	1	3	4	16	9	1	2	1	29
11月	1	2	3	16	8	3	2	1	30
12月	1	2	3	16	7	3	2	1	29
1月	1	2	3	17	7	3	2	1	30
2月	1	2	3	13	10	3	2	2	30
3月	1	2	3	14	13	2	2	1	32
計	15	34	49	183	109	23	29	11	355

※平成28年4月～平成29年3月迄、利用終了となった事由として

- ・施設入所 7名
- ・長期入院 4名
- ・事業所変更 3名
- ・転出 1名
- ・死亡 1名

計 16名

* 月別施設入所等移動数 (平成28年度)

	老人福祉施設	サービス付高齢者住宅・ケアハウス	療養型医療施設
4月	1		
5月			
6月	1		1
7月			
8月	1		1
9月			1
10月			1
11月			1
12月			
1月			
2月	1		
3月	1		
計	5	2	4

* 月別介護サービス利用状況 (平成28年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
訪問介護	8	7	7	7	8	7	8	7	7	6	8	5
訪問看護	8	7	6	6	5	6	6	6	6	5	7	8
訪問リハビリテーション	3	3	2	1	3	4	4	4	4	4	3	2
通所介護	12	10	9	8	7	8	9	10	10	11	11	14
地域密着型通所介護	14	13	14	14	13	16	14	14	15	15	13	12
通所リハビリテーション	5	5	4	4	3	4	4	4	4	3	4	4
短期入所生活介護	4	5	3	5	5	3	4	3	5	6	6	7
特定施設入居者生活介護	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小規模多機能型居宅介護	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福祉用具貸与	15	16	14	14	14	14	14	13	12	14	15	13
福祉用具購入	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1
住宅改修	1	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0

* 月別予防サービス利用状況 (平成28年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
訪問介護	3	3	3	1	1	1	1	0	0	0	0	0
訪問看護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問リハビリテーション	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護	6	6	6	6	4	4	4	3	3	3	3	3
通所リハビリテーション	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
短期入所生活介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
短期入所療養介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福祉用具貸与	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2
福祉用具購入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
住宅改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

平成 28 年度事業報告

*ケアプラン作成…課題分析方式についてはMDS-CAPで行った。

*サービス担当者会議…認定更新時、ケアプランの見直し等において専門的な見地から意見を求めるため、指定居宅サービス等の担当者と連絡調整を行い、利用者宅・事業所内会議室・またはサービス事業所を訪問し、会議を開催した。
開催できなかった場合は、サービス担当者会議に対する照会の依頼において、担当者より聴取させていただきプランの参考とした。

*主治医との連携…ケアプラン作成において主治医の見地が必要な場合、当該病院へ訪問し主治医と面談、またはMSWとの連携等により情報収集および共有をした。

*ケアプランの実施状況等を把握し、計画の変更等利用者が求めるサービスが提供されるよう、特段の理由がない限り、月に最低一度は必ず訪問を実施した。

*モニタリングについて…事業所や利用者、家族からの情報を基に、課題の把握と達成度をケアプラン・マネジメント評価表としての記録を実施した。

*研修会等への参加

・のぼりべつケアマネ連絡会	(4/15・7/15・9/16・10/22・11/18・1/20・2/25)
・民生委員・ケアマネジャー交流会	(6/4)
・事例検討会	(7/22)
・消費者被害勉強会	(10/12)
・日胆地区指導員部会研修会	(10/21)
・三愛病院接遇研修	(1/24)
・のぼりべつ生活支援者勉強会	(2/1・3/24)
・登別市消費者被害防止ネットワーク会議	(2/14)
・成年後見制度の説明会	(3/15)

*認定調査について…各市より委託を受け、11月1件・2月3件実施した。